

ご挨拶

幹事の皆さま

平素より理工学部同窓会の運営にご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

理工学部同窓会では、例年この時期に幹事会を開催しておりますが、先にご連絡した通り、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面決議の方法で行うことに致しました。ご協力をよろしくお願いいたします。

現在の義塾の状況と致しましては、慶應義塾新型コロナウイルス感染症対策本部が先日、感染拡大抑制のための対策を講じたうえで、6月8日より塾内施設の段階的な使用を開始すると発表しました。その中で、感染拡大の防止を最優先に考え、春学期中はインターネットを活用したオンライン授業・研究活動を原則とし、可能な限りキャンパスの施設利用を避けることとしています。

(「学内施設の段階的な使用開始について」 <https://www.keio.ac.jp/ja/news/2020/5/27/27-69933/>)

大学関係者によりますと、新型コロナウイルス感染拡大が塾生に与えている精神的な影響として挙げられる主なものは、「オンライン授業を含む種々の授業に対する不安」と「アルバイトや保護者の収入減少、また収入減による修学継続困難についての不安」であり、1年生が抱く不安は特に大きいと考えられます。そのことを考慮し、当会としては「理工学部1年生応援事業」を行う計画を立てました。

先般このHPでご紹介した元厚労省感染症審議委員・内科医で、慶應連合三田会の菅沼安嬉子会長からのメッセージにもあるように、ほとんどの専門家が秋以降の第二波を警戒しています。

(「慶應連合三田会会長メッセージのご紹介」

http://www.dosokai.st.keio.ac.jp/info/message_20200521/)

慶應義塾大学病院でも、財政的にひっ迫する状況の中、第二波の襲来に備え準備を進めていかなければならず、課題が山積しています。

今後につきましては、これまで積み重ねてきた当会の活動に加え、新型コロナウイルスに関連して生じる様々な課題に対して、塾員の皆様とコミュニケーションを図りながら、平時のルールにとらわれない対応も考え、我々の誇るべき伝統である「社中協力」の精神の下、確固とした歩みを皆さまと共に力強く進めて参る所存です。引き続き、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆さま並びにご家族のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

慶應義塾大学理工学部同窓会会長 落合 正行